

オブジェクト.プロパティ

↑
ピリオド

VBAの操作対象:

Workbook : ブック

Worksheet : ワークシート

Range : セル など

オブジェクトの性質を設定／取得するもの:

ColimnWidth : 列幅

Rowheight : 行の高さ

Value : セルの値

オブジェクトの集合



オブジェクト	コレクション	解説
Worksheetオブジェクト	Worksheetsコレクション	ワークシート
Workbookオブジェクト	Workbooksコレクション	ブック
Rowオブジェクト	Rowsコレクション	セルの行
Columnオブジェクト	Columnsコレクション	セルの列
Commandbarオブジェクト	Commandbarsコレクション	ツールバー
Axisオブジェクト	Axesコレクション	グラフの幅
Fileオブジェクト	Filesコレクション	ファイル

1つのセルも複数のセル範囲もRangeオブジェクトという。Rangeコレクションとは言わない
Worksheets(1)とかWorksheets("Sheet1")、Sheetsコレクションを用いて
Sheets(1)とかSheets("Sheet1")とも表される

Sheetsは、グラフシート及びワークシート全てを含む

Excel

Applicationオブジェクト

Workbooksプロパティ

Workbookオブジェクト

Worksheetsプロパティ

Worksheetsコレクション

Worksheetオブジェクト

Worksheetオブジェクト

:

Rangeプロパティ

Rangeオブジェクト

オブジェクト.プロパティ

↑ピリオド

Application.Workbooks("Book1.xlsx").Worksheets("Sheet1").Range("A1")



セルがあるワークシートがアクティブであれば、上位のオブジェクトの記述は省略可能

Range("A1")

Excelでは省略可能な場合がある

Range("A1:D5").Value = 123 ⇒ Range("A1:D5") = 123 ← 数値

Range("B10").Formula = "=SUM(B4:B9)" ⇒ Range("B10") = "=SUM(B4:B9)"
↑
関数

Rangeプロパティ Interiorプロパティ

Range("A1:D5").Interior.Color = vbGreen

Range("A1:D5").Interior.Color = RGB(0, 128, 0)

なぜ255でないのか？

色	組込み定数	R	G	B
黒	vbBlack	0,	0,	0
白	vbWhite	255,	255,	255
赤	VbRed	255,	0,	0
緑	vbGreen	0,	128,	0
青	VbBlue	0,	0,	255
黄	vbYellow	255,	255,	0
マゼンタ(紫)	VbMagenta	255,	0,	255
シアン(水色)	vbCyan	0,	255,	255